

○新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間延長及び区域変更に関する質疑

【質問のポイント】

1. これまで使用されていないアストラゼネカ製ワクチンの検討状況及び今後のワクチン接種に対する認識を伺う。
2. お盆休みを控えた今の時期を考えると、国民の皆さんに更なるご協力もいただきながらこの時期に人流をしっかりと抑えていくことが重要だと考えるが、国民へのメッセージを含め対応策を伺う。

本日の会議に付した案件

○新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間延長及び区域変更に関する件

○委員長(水落敏栄君) ただいまから議院運営委員会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間延長及び区域変更に関する件を議題といたします。

まず、西村国務大臣から報告を聴取いたします。西村国務大臣。

(略)

○委員長(水落敏栄君) 以上で報告の聴取は終わりました。

これより質疑を行います。質疑のある方は順次御発言願います。

○宮崎雅夫君 自由民主党の宮崎雅夫でございます。

時間の限りがございますので、早速質問に入らせていただきたいと思っております。二問まとめて西村大臣にお伺いをいたします。

今回、今大臣から御報告があったわけでございますけれども、緊急事態宣言が拡大し延長すると、そしてまん延防止措置も適用されるということでございますので、飲食業の関係の皆様、そして食材を提供する農林水産業の皆様など、影響が更に大きくなるということになるわけでございます。協力金の早期給付ということには取り組んでいただいているわけでございますけれども、影響を受けている皆様にとっかかりと寄り添って支援をいただくこと、これをまずお願いをしておきたいというふうに思います。

現在、大変深刻な状況になっておるわけでございまして、これを考えますと、感染拡大の要素として、デルタ株による急速な感染拡大のこのスピードに、感染予防それから重症化の予防に著実に効果を上げておりますワクチン接種、そして感染リスクを減らすということとで人流を抑制をしようと、この感染を減少させる重要な二つのこれ要素があるわけですけれども、このスピードがなかなか追い付いていないということが急激な新規感染者の増加に今つながっているんじゃないかというふうに考えるわけでございます。

ワクチン接種にまずついては、希望する皆様ができるだけ早く接種を受けられるように、引き続き政府としても市町村、都道府県と緊密に連携をしていただいて最大限のこれ努力をしていただきたいというふうに思うわけでございますけれども、これまで使用されておりますのでしたアストラゼネカ製のワクチンについて、加藤官房長官が先日の記者会見で、国内での臨時接種について厚労省において検討されており、早期に対応される、そういう旨の発言をされておりました。今日、厚労省で専門家の皆さん方議論をされているというふうにも聞いておりますけれども、この件も含めて、今後のワクチン接種について大臣の御認識をまずお伺いをしたいと思います。

二点目でございますけれども、人流と



いうことでございます。夏休みにもう入っておりますけれども、お盆を控えた今のこの時期のことを考えますと、お盆の時期はどうしても帰省などによって人流ができてしまうわけですが、一方で、通勤ではここは確実に人の流れは減ってくるということでございますので、国民の皆さんに更に御理解をいただいで、この時期に人流をしっかりと抑えていくということが非常に重要なことだというふうに考えますけれども、大臣のお考えをお伺いをしたいと思います。



○国務大臣(西村康稔君) お答え申し上げます。ワクチンにつきましては、アストラゼネカ製のワクチンにつきましては、御指摘ありましたように、本日、厚労省の厚生科学審議会予防接種・ワクチン部会におきまして、このワクチンを予防接種法上の臨時接種で使用するワクチンに位置付けた上で、対象年齢について、十二歳から十八歳未満の者には使用しないこと、必要がある場合を除き十八歳から四十歳未満の者に対しては使用しない、このことで了承を得たものと承知しております。

今後、厚労省におきまして所定の省令改正が行われるものというふうにお伺いしております。まさにアストラゼネカ製のワクチンは、ワクチンの保管、管理



答弁する西村特命担当大臣

が容易であるというメリットがござい
ます。これも生かしながら、どういった形
で具体的に接種に活用される、してい
くか厚労省で検討がなされておりま
すので、決まり次第示されるものと考
えております。

その上で、自治体での接種、職域の接
種、河野大臣の下で円滑に進むよう
に、そしてできるだけ早く迅速に進む
ように対応されていますので、私の方
でもしっかりとサポートしていきたいと
いうふうに考えております。

そして、まさに夏休みに入っており
ますので、この期間で移動が、東京
や大阪から地方部に移動が起これば
また感染が広がるということであり
ますので、できる限り県をまたぐ移
動は控えています。そして、どうしても
移動される場合は、できるだけ時期
をずらす、あるいは検査を事前に受
けていただく、こうしたことを呼び
かけを行っております。

あわせて、昨年もそうでありましたが、
八月のお盆の時期に多くの人が家庭
でいたことにより、感染を抑えられ
たこと、是非、この時期、これから
八月末まで緊急事態宣言を延長さ
せていただくこと、是非、不要不急
の外出は控えていただき、出かける
ときも少人数で、いつもいるメンバ
ーで、そして感染防止策を徹底して
いただく、ちょっとした隙で、変異
株、感染力が強いことから、この
ことを是非お願いをした



いというふうに思っております。
○宮崎雅夫君 終わります。ありがとう
ございました。
(以下略)